

私立大学でのXoonIps活用法 機関リポジトリ構築事例紹介

(私大のリポジトリはこう作る)



XOONIPS研究会 2010年度関西ワークショップ
2011年1月21日 近畿大学に於いて
慶應義塾大学 メディアセンター本部 五十嵐健一

1. DRF-Tokyo

2010年12月22日に慶應
(東京・三田)にて開催

私立大学を中心に講師含め
61名の参加 (多くが私大図書館員)

私立大学での機関リポジトリ構築実務
の紹介や苦労話



DRF?



- デジタルリポジトリ連合

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/>

いろいろなワークショップなどを開催している。
DRF-Tokyoも、その一環である地域ワークショップ
として開催された。

発表事例から



- コンテンツは探せばあるもの
- 構築の動機や事情は、それぞれいろいろあってよい
特色につながることも！
- 機関の特徴あるコンテンツを機関リポジトリで公開
また、それを元に学内の合意形成を行うのも手
- PDF作成やメタデータ作成など、業者との作業分担が
大事
- システム面についての検討も

2. 私立大学における 機関リポジトリとは

継続的
な
運用

特色
を出す

シス
テム

特色を出す



- 機関リポジトリは多様化してきている
 - 形式（地域連携、サブジェクト、著者最終稿・・・）
- 決まったものはないと考える
- 何を入れるか、学内の特徴的なものを入れる、と考えると進めやすい

継続的な運用



- 学内の合意を得る？
- コンテンツの選定
 - 学内紀要誌などを継続的に入れることでコンテンツの確保
- 業者との役割分担
 - どこを自分でやるか？
 - ✦ システム運用
 - ✦ コンテンツPDF作成
 - ✦ メタデータ付与
 - ✦ 機関リポジトリへの登録
- 無理のないシステム設計
 - システムのupdateへ対応しやすい構築を目指す

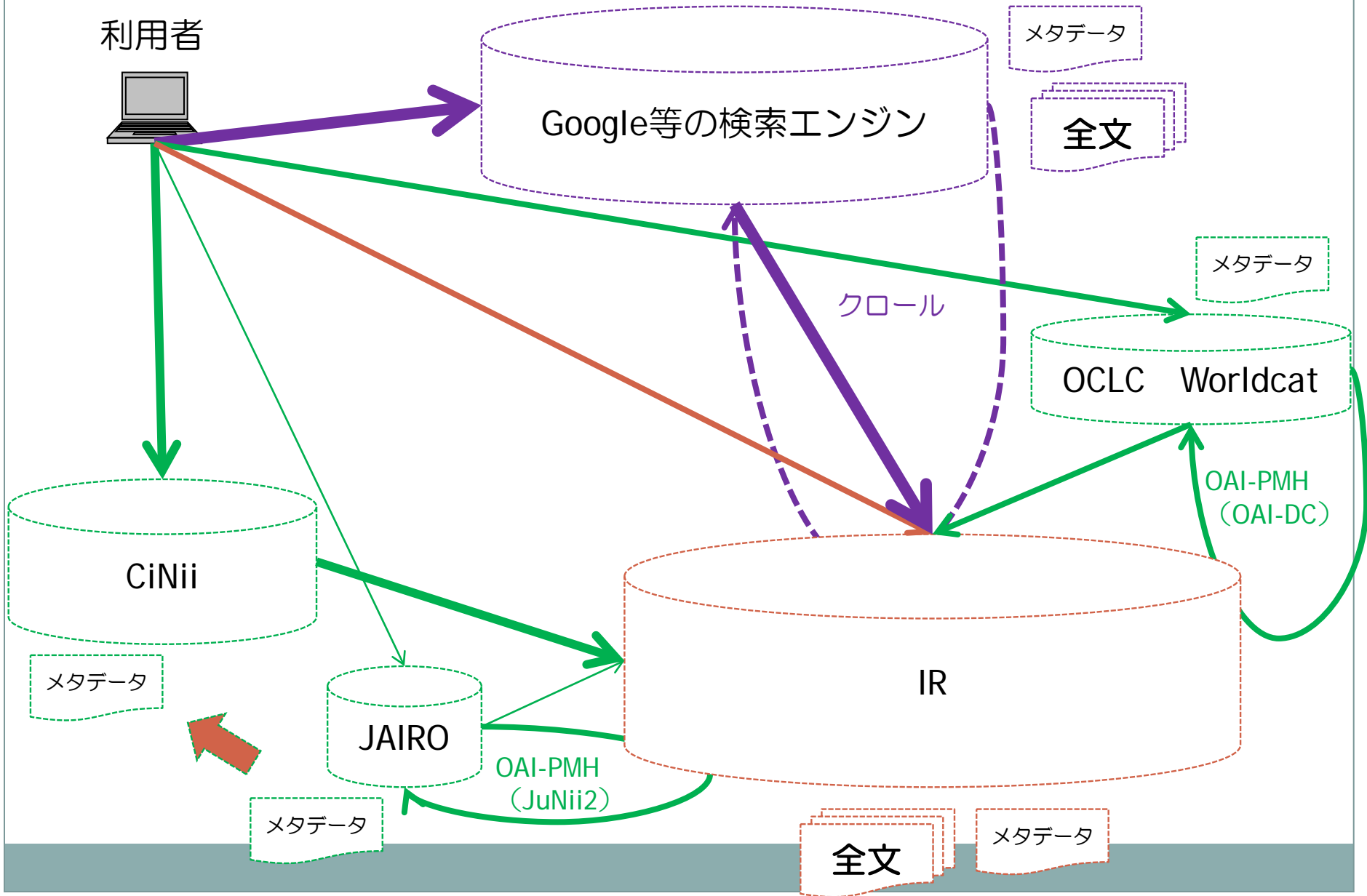
※契機としてはNIIのCSI委託事業を受けるのも良いと思います

システム



- 箱としてのシステム XooNlps、DSpaceなど
- 連携して公開する一連の仕組みが出来上がっている
 - 通常の公開
 - Googleからのハーベスト
 - 機関リポジトリ (IR)
 - CiNii (JAIRO:IRDB経由)
 - OCLC Worldcat

機関リポジトリ (IR : Institutional Repository) の公開する仕組み



情報源



- XoonIps研究会

- <http://nijc.brain.riken.jp/xoonips/>

- 学術機関リポジトリ構築連携支援事業（NII）
CSI委託事業

- <http://www.nii.ac.jp/irp/>

- DRF : Digital Repository Federation

- <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Digital%20Repository%20Federation>

3. 慶應での取組みと XooNips利用機関のリポジトリ (デモ)



慶應義塾大学学術情報リポジトリ
KOARA

XooNipsを利用した機関リポジトリ



- [青森県立保健大学リポジトリ A-plus](#)
- [旭川医科大学 学術成果リポジトリ AMCoR](#)
- [近畿大学学術情報リポジトリ KUREpo](#)
- [埼玉県地域共同リポジトリ SUCRA](#)
- [聖学院大学 学術情報発信システム SERVE](#)
- [奈良大学リポジトリ](#)
- [別府大学 機関リポジトリ BUILD](#)
- [別府大学 地域連携プログラム BUNGO](#)
- [奈良県立図書情報館 奈良県地域史料目録](#)
- [奈良文化財研究所 学術情報リポジトリ](#)

4. 機関リポジトリを 取り巻く環境の変化



良いか悪いかは別として、機関リポジトリ（というより図書館）を取り巻く情報環境の変化は大きい

- 機関リポジトリの標準化（構築機関の増加）
- アップルコンピュータのIPADをはじめとした利用者の電子情報への対応
- 国立国会図書館の学位論文の電子化事業
- 朝日新聞の機関リポジトリランキングに機関リポジトリランキングの項目が追加
- 科研費の成果報告書の一部電子提出
- 博士論文・修士論文の電子化

今後も、電子情報は増えていくでしょう・・・

国立国会図書館の学位論文電子化事業



- 平成22年度は1991年度から2000年度までにNDLで送付を受けた学位論文のデジタル化を実施
- NDLで著者の方へ以下の許諾をお願いする
 - ✦ 国立国会図書館における全文複写提供および公衆送信（インターネット公開）を行うこと
 - ✦ 国立国会図書館がデジタル化した学位論文を複製して学位授与大学へ譲渡すること
 - ✦ 学位授与大学において、国立国会図書館から譲渡を受けた学位論文のデジタル化複製物を利用（全文複写提供、公衆送信）に供すること

おわり



ご静聴ありがとうございました